

3月20日(月)

## 中 学 校 の 音 楽 会

聖書朗読 ネヘミヤ記 8 : 1～9

民はみな、律法の書に耳を傾けた。

ネヘミヤ記 8 : 3

平均的な中学校での音楽会で、演奏を聴きに来た人たちがどのような態度で鑑賞しているかは、大変興味深いものがあります。みんなまわりの人たちと話しています。ときには音楽会の間中、会話していることもあります。マナーモードになっていない携帯電話を持っているので、話し相手には困りません。また、自分がビデオカメラなどに音楽会を録画することが、他の人が音楽会を観て楽しむことよりも重要だと考えているような人たちもいます。

自分たちの大切な子ども、孫、甥、姪たちがステージの上に立つまで、こんな状態が続きます。しかし、自分たちの大切な人が演奏する番になると、突然、静かになり、子どもたちが演奏するすべての音を聴きます。自分の欲求を満たすときには、人はどれほど注意深くなるか、驚くべきものがあります。

神様が私たちに話しかけられているということを信じるなら、神様が語られることに、もっと注意深くなります。聖書には、神様に喜んでいただくためにはどうしたらいいかということから、まわりの人たちとの関わり方まで、日々の暮らし方が書かれています。聖書が読まれるとき、私たちは愛する親の話を聞く子どもとして、注意深くなる必要があります。

みことばに注意深く耳を傾けることができますように。

*静けさと感謝の心を与えてください。*

*すべての雑音から解放されたとき、あなたの御恵みの祝福が与えられます。*

*あなたに向かって生きることができますように。*

—— アン・スティーラー

讃美歌 453

祈り 親愛なる主よ。聖書というみことばを通して私たちに話しかけてくださり、ありがとうございます。あなたが私たちに語りかけてくださることに、注意をもって耳を傾けることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ロバート・P・マレン

テキサス州 ノースリッチランドヒルズ

## 今日の力

2017年3月20日～3月26日

翻訳 村越克子

ゲラ弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

3月21日（火）

## 義 人 は 保 つ

聖書朗読 ヨブ記 17：10～16

義人は自分の道を保ち、手のきよい人は力を増し加える。 ヨブ記 17：9

ヨブが失ったものは甚大でした。息子たちとその配偶者が死に、牛、ろば、羊、らくだを失いました。ヨブの3人の友が彼を慰めるために、ヨブのところにやって来ました。そして、これらの酷いことは、ヨブが何か罪を犯したせいだと言いました。

第17章では、ヨブはこの状況を前向きに見始めています。『義人は自分の道を保ち、手のきよい人は力を増し加える』とヨブは言います。邪悪な人が災難に遭うのと同じように、義人も災難に遭いますが、しかし、そのような困難な状況の中でも、義人は正しい道を保ち、災難は義人の力を増し加えることができるということをヨブは理解します。

私が知っている強い人の一人は、若いときに夫を亡くし、さらに飛行機事故で息子を亡くしました。そして、50日間、集中治療を受けるという、つらい経験もしました。人生の後半では、彼女は車いすで多くの場所を旅してまわり、人々にキリストを伝える助けをしました。

神様は、人生が完璧になるとは約束されていません。むしろ、この世において、私たちは苦難に遭うとおっしゃっています。けれども、苦難に遭うことは、私たちが永遠のいのちをもっとはっきりと見られるようになるのを助け、そして、永遠のいのちにはもはや苦難はありません。どのような状況にあっても、どんな困難があろうとも、私たちがイエス様につながっていることを感謝して、希望をもつことができます。

讃美歌 316

祈 り 親愛なるお父様。天国における永遠のいのちという視点をもって、この世での良い日と悪い日を見ることができるよう助けてください。試練を経てより強くなれますように。またその中であっても平安を保つことができるように助けてください。

キリストを通して。アーメン。

スタフォード・ノース

オクラホマ州 オクラホマシティ

3月22日（水）

## レ ビ ヤ タ ン

聖書朗読 ヨブ記 41章

だが、その力ある雷を聞き分けようか。 ヨブ記 26：14

神様が創造された多くのもののことを考えると、自分を小さく感じます。それらの大半は美しいものです。たとえば日没や、新雪が降り積もる冬の不思議な国、遠くにそびえる山々などです。しかし、恐ろしいものもあります。

巨大な動物は恐怖を引き起こします。たぶん、動物園でこれに似た獣を見たことあるのではないのでしょうか？あるいは野生動物で見たことがあるかもしれません。たとえば、15フィートの長さのうねっている蛇、水面に目を出したワニ、獲物のまわりを旋回しているサメ、ヒゲを舌なめずりしているライオンなどです。これらの生き物は、神様が恐ろしい生き物もお造りになられたことを、私に思い起させます。

ヨブ記の今日の聖書の箇所には、本当に恐ろしい生き物であるレビヤタンのことが書いてあります。レビヤタンは恐竜や巨大な海のトカゲ、巨大なイカに少し近いようにも、ドラゴンに似ているようにも思われます。しかし、この恐ろしい生き物についての記述の中で、神様は、ご自身が語られようとしていることを示されています。それは『だから、だががいったい、わたしの前に立つことができよう。』（41：10）です。このような恐怖を引き起こす生き物をお造りなられた神様は、これらの生き物よりも、はるかに恐ろしいほど偉大なお方なのです。そしてまた、こういった創造の恐ろしい部分は、ヨブがそうしたように、私たちの神様は偉大であり、すべてが可能であり、どんなご計画も成し遂げられると、私たちに宣言させます。

讃美歌 9

祈 り 天国のお父様。私たちが想像する以上に、あなたはお力のあるお方です。創造物の中で最も大きく、最も恐ろしいものを考えたとき、あなたがそれ以上に偉大であり、畏敬すべきお方であり、お力のあるお方であることを覚えます。私たちを愛してくださることに、そのお力を用いてくださいますことに感謝いたします。

イエス様の御名において。アーメン。

ジョシュ・ボイド

インディアナ州 ラファイエット

3月23日（木）

## 正しい人についての記述

聖書朗読 詩篇 第15編

まことに、主は、正しい者の道を知っておられる。しかし、悪者の道は滅びうせる。  
詩篇 1：6

正しい者の特権と祝福は、詩篇に共通しているテーマです。第15編には、正しい人についての記述があります。正しい人について、非凡な力と、することとしないことの両方から簡潔に書かれています。

正しい人がすることは、正しく歩み、義を行ない、心の中にある真実を語り、神に捨てられた人をさげすみ、主を恐れる者を尊び、自分が立てた誓いを変えないことです。

しないことは、舌をもってそしらず、友人に悪を行なわず、隣人への非難を口にせず、金を貸しても利息を取らず、わいろを取らないことです。

詩篇の作者は、この5つの節にたくさんのことを詰め込みました。詩篇の作者は私たちに、このようなことを行なう人は、決してゆるがされず、不動であることを保証します。正しい人は、守り支えてくださるお方として、右手に神様を頂いています。正しい人は、この世に直面する準備ができています。

讃美歌 452

祈り 親愛なる主よ。私たちは邪悪な世に生きています。私たちが、私たちの主イエス・キリストに倣う正しい人になれますように助けてください。  
イエス様の御名において。アーメン。

デール・フォスター  
テキサス州 サイプレス

3月24日（金）

## 目を開いて

聖書朗読 詩篇 62：1～8

私のたましいは黙って、ただ神を待ち望む。私の救いは神から来る。神こそ、わが岩。わが救い。わがやぐら。私は決して、ゆるがされない。

詩篇 62：1～2

先日、私は毎年一回行く病院の検査に行きました。どんな気持ちで行くか、皆さんもご存じのことと思います。診察室は、検査機の音や行ったり来たりする看護師さんたちで満ちていました。私は11年前に、医師に命を救ってもらったことを、その部屋の看護師さんたちに語りました。そうして語っているうちに麻酔で眠りにつき、意識が戻った時には検査は終わり、私はすでに静かな回復室に戻されていました。聞こえるのは夫が私の名前を呼ぶ声だけでした。

私はいつか目を開けたらそこに神様の御顔を見て、神様が私たちの名前を呼ぶのを聞く時が来ることについて考え始めました。それは何とすばらしいことでしょう。雑音やストレスに満ちたこの世を去った後、私たちはついに天国のお父様の目を見ることができるのです。私たちを最も愛し、私たちのために死んでくださった方の家に入り、その方へ再び結びつくのです。なんてすばらしい日が待っていることでしょう！

聖歌 589

祈り お父様。この世の心配事やストレスにつぶされそうになるときには、どうぞ助けてください。目をあなたに向け続け、あなたの御顔を見上げてあなたを永遠に礼拝することができますように。主よ、あなたを愛します。

イエス様の御名において。アーメン。

メリッサ・デントン  
テキサス州 フォートワース

3月25日（土）

## 聴くということを学ぶ

聖書朗読 詩篇 62：5～12

私のたましいは黙って、ただ神を待ち望む。

詩篇 62：5

あなたは今までに神様のことばを深く聴こうとしたことがありますか。何かをしながらかではなく、また何かを行うためではなく、ただじっと静かに座って神様のことばを聴くのです。

それには何にもじゃまをされない時間や場所を選ぶことが重要です。神様のことばが語られるときは、ただ静かに座って聴き入ることこそが素晴らしいのです。静かな場所であればどこであっても構いません。新しい技術を身に付けるときのように、じっとしてただ静かに聴くには少し練習が必要かもしれません。私たちはいつも「何かをしている」状態でいるのが普通ですから。

注意を集中させるためには努力が要ります。なぜなら私たちの思考はふわふわと辺りに漂ってしまうからです。聴こうと努力すれば、段々と神様のことばがたましいを突き通すようになります。するとみことばや聖書の教えに今までとは違う方法で答えることができるようになります。

みことばを聞くと、私はしばしばそれを書き留めておきたいと思います。そうすれば後で何度でも読み返すことができますからです。特に、聴こうと努力して聴いたみことばによって祝福されたと感じたとき、私はこの祝福について自分の子どもたちや孫たちに知ってもらうために書き留めておきたいと思います。

讃美歌 313

祈り お父様。あなたのみことばのすばらしい恵みに感謝します。あなたのメッセージを聞くために聴く力を、私たちが育てることができるように助けてください。

イエス様の御名のもとに。アーメン。

ノーマ・プリベット

カリフォルニア州 サウザンドオーク

3月26日（日）

## 授けられた恵み

聖書朗読 詩篇 84：5～13

あなたのいつくしみはなんと大きいことでしょう。あなたはそれを、あなたを恐れる者のためにたくわえ、あなたに身を避ける者のために人の子の前で、それを備えられました。

詩篇 31：19

B-E-S-T-O-W. bestow という言葉は、誰かに贈り物や栄誉を与えたり、授けたり、分け合ったりという意味で使われます。私たちの恵み深い天なるお父様は信じる者たちに日々、数分ごとに恵みを bestow してくださいます。自分に従順な子どもたちに恵みを与えない親がいるのでしょうか。

詩篇 84:11 には『主は恵みと栄光を授け、正しく歩く者たちに、良い物を拒まれません。』と述べられています。なんというすばらしい恵み、そして神様から子どもたちに向けての愛にみちた約束でしょうか。あなたは神様の愛を今日だけかに分け合うことができますか。

私たちは恵み深い手を忘れている。

その手は私たちを平安にし、繁栄させ、

豊かにし、強める。

これらすべての恵みが

自分自身の徳や知恵によると思うのは

心の想像による

大きなうぬぼれにすぎない。

—— アブラハム・リンカーン

讃美歌 第二編 82

祈り お父様。あなたの精神的、物質的な恵みに感謝します。豊かに流れ出る恵みのすべてを感謝し、それを与えてくださった方をけっして忘れることがありませんように。

あなたの御子の権威によって、これを私の祈りとします。アーメン。

チャリス・Ｒ・パワース

テキサス州 ヒューストン